

2020年 梅まつり俳句優秀作品

榎本 達 選

特選（一般の部）

引率の若き教師や梅真白

評 潑刺とした先生と「梅真白」が取り合わされました。草田男の「勇氣こそ地の塩なれや梅真白」などを思い出させます。

多摩市 石月由多加

梅が香や茶の師と共にひとやすみ

評 「梅まつり」の野点に来られた方でしょうか、心安らぐひとときを句の形にされました。

府中市 おおむらとよこ

首飾軽きに替へて梅見かな

評 多少浮き立つ気持を軽妙に「首飾軽きに替へて」で表しているのではないかと思われまます。

府中市 山田 昭子

華やぐも翳もつもあり梅の花

評 茶青梅など緑がかつた梅も「翳」をもつよう捨てがたい味わいがあり、それらを巧みに捉えました。

新宿区 田中 里香

田の神を囲める千の犬ふぐり

評 田を見守るように立っている「田の神」を数え切れない「犬ふぐり」が囲みます。季語が生きていると思われまます。

府中市 志田 礼子

特選（小・中学生の部）

該当者なし

佳作（一般の部）

梅園の静けさに聴く鳥の声
先がけて蕾を張りぬ梅の枝
武蔵野の櫛の末の春の雲
青空のここに零れて犬ふぐり
枝の影は幾何学模様草青む
蔵店の看板古りて梅白し
裸電球に映ゆるかんばせ昔雛
柿本人麻呂の雛ひげ豊か
父と子の輪投競争梅日和
しだれ梅くぐれば空の真青なる

府中市 村田 暉
府中市 佐々木角雄
府中市 直木 葉子
世田谷区 日暮 邦子
府中市 芝 喜久子
川崎市 藤原 幸子
府中市 小林美智恵
渋谷区 山岸美代子
日野市 富田 君代
府中市 山田 節子

佳作（小・中学生の部）

梅の下けん命にさく福寿草
春の梅風が香りを運んでる
鳥が鳴くあっぱれ自然梅の園

相模原市 西 周嶺 小6
府中市 國森 咲希 小4
世田谷区 長谷川 亘 中2

（敬称略 新漢字・歴史的仮名遣い 順不同）

【榎本 達】

昭和二十三年東京都府中市生まれ。市村究一郎に師事。俳人協会会員。